

本資料は 2018 年 7 月 10 日 (現地時間)、インド・ムンバイにて発表されたプレスリリースの抄訳です。

【原文 URL】 <https://www.tcs.com/tcs-financial-results-q1-fy-2019>

【ご参考資料】

報道関係者各位

2018 年 7 月 12 日

日本タタ・コンサルタンシー・サービズ株式会社

銀行・金融・保険分野の回復により、好調な新年度のスタートを切る 純利益は前年同期比 17.2%増を達成

- 売上高が 50 億ドルの大台を突破し、前年同期比で 10%増¹
- 北米での成長が 12 四半期ぶりの記録を達成

ムンバイ | 2018 年 7 月 10 日: IT サービス、コンサルティングおよびビジネスソリューションのリーディングカンパニーであるタタコンサルタンシーサービズ(TCS)は、Ind AS (インド会計基準)と IFRS (国際財務報告基準)に基づき、2018 年 6 月 30 日を末日とする四半期の連結決算を発表しました。

2018-19 年第 1 四半期の業績ハイライト

- 売上高: 50 億 5,100 万ドル、前年同期比 10%増
 - 為替変動の影響を除外した売上高: 前年同期比 9.3%増
 - 純利益: 10 億 8,200 万ドル、前年同期比 17.2%増
 - 営業利益率: 25%
 - 1 株当たり利益: 0.28 ドル、前年同期比 19.8%増
 - 1 株当たり配当額: 4.00 ルピー
- 基準日は 2018 年 7 月 18 日、支払日は 2018 年 7 月 25 日を提案

2018-19 年第 1 四半期の事業ハイライト

- 銀行・金融・保険 (BFSI) 分野の成長が加速、前年同期比 4.1%増
- 北米における BFSI 分野と小売分野が回復、前年同期比 7%増
- デジタル分野の売上高が 25%を占め、前年同期比 44.8%増
- 1 億ドル超の顧客に 2 社が、500 万ドル超の顧客に 13 社が新たに加わる
- アジャイルに対応する世界最大の人材を擁し 242,000 人超の従業員がアジャイルの研修を受ける
- 総従業員数は 400,875 名、IT サービス部門の離職率は 10.9%(直近 12 カ月)

TCS 代表取締役社長 兼 CEO (最高経営責任者) 兼 マネージングディレクターのラジェシュ・ゴピナタン (Rajesh Gopinathan) は、第 1 四半期の業績について、次のように述べています。

「すべての分野で成長を達成し、新年度を好調のうちに始動できました。当四半期は銀行・金融・保険分野が大きな回復を遂げ、また、他の産業分野でも継続的に堅調を維持しました。当四半期に獲得した新たな案件や安定的な案件パイプライン、さらにデジタルに対する需要の加速により、将来を見据えた万全な準備体制が整っています。TCS が主導する Business 4.0 の枠組みがすべての産業分野と顧客から受け容れられるとともに、デジタル変革のスピードを加速しています。TCS の柔軟性に優れた知見、あらゆる分野における顧客対応能力、さらに、リサーチ&イノベーションへの投資を通じ、TCS は成長とビジネス変革を目指す顧客から、さまざまなイニシアチブを推進するパートナーに選ばれています」

¹ 成長率は特に注記がない限り、恒常為替レートで計算しています。

TCS COO (最高業務執行責任者) 兼 エグゼクティブディレクターの N. ガナパシー・スブラマニウム (N. Ganapathy Subramaniam) は、次のように述べています。

「すべてのセグメントにおいて幅広く成長を達成するとともに、新規顧客も順調に獲得し、好調な四半期となりました。クラウド・トランスフォーメーション、サイバーセキュリティとデータプライバシー、自動化をはじめとした分野で大きな需要が生まれています。「マシンファースト・デリバリーモデル (MFDM™: Machine First Delivery Model)」や「ロケーション・インディペンデント・アジャイル (Location Independent Agile: 地理的な制約にとらわれないアジャイル開発)」など、先進的手法の開発に対する TCS の投資は、顧客に対しビジネスでタイムリーな成果を生み出す優位性と、商品開発期間の短縮をもたらしています」

TCS CFO (最高財務責任者) の V. ラマクリシュナン (V. Ramakrishnan) は、次のように述べています。

「的確な業務遂行、成長の加速、および有利な為替レートが当四半期の賃金上昇の影響を軽減しました。この良好な第 1 四半期の業績により目標に見合う営業利益率を確保し、さらに、市場における TCS の差別化に貢献するデジタル分野への投資継続に対する自信を確固たるものにしました」

第 1 四半期の部門別ハイライト²

産業分野別:

第1四半期にはBFSI (4.1%増)と小売・消費財 (CPG: Consumer Packaged Goods) (12.7%増)で売上成長が加速しました。最大の成長率はエネルギー・公共事業産業で達成しました (30.9%増)。

市場別:

北米が7%成長に復帰し、また英国 (18.7%増)、欧州 (18.6%増)、およびアジアパシフィック (10.8%増)が成長を牽引しました。

サービス分野別:

ビジネス&テクノロジーサービス分野が複数の大型案件を獲得し、また、すべてのサービス分野において好調な受注パイプラインを確保した四半期となりました。

- **コンサルティング&サービス・インテグレーション:** テクノロジー、プロセス、柔軟な知見を組み合わせ、トランスフォーメーション遂行のためのビジネスソリューションに対する需要が拡大したことで、大幅な成長を達成しました。エンタープライズ・アジリティサービスの顧客への導入が引き続き堅調を維持しています。
- **デジタルトランスフォーメーション・サービス:** 顧客がデジタル化を軸としたビジネス変革において複雑・煩雑な課題に取り組む中、すべてのサービスが大幅な成長と好調な受注パイプラインを達成しました。第 1 四半期にはクラウドアドバイザリーおよびトランスフォーメーションサービス、GDPR (General Data Protection Regulation: 一般データ保護規制)、ID およびアクセス管理、マネージドセキュリティサービスを含むサイバーセキュリティ、ビジネスプロセスの自動化を図る IPA (Intelligent Process Automation)、TCS エンタープライズクラウドプラットフォーム、インタラクティブサービス、IoT アナリティクスの各サービスが大きい需要を獲得しました。
- **コグニティブビジネスオペレーション:** 新たなワークロードに対処する際、人よりも機械 (マシン) に優先的選択権を付与することで従来のデリバリーを変革する、TCS の「マシンファースト・デリバリーモデル (MFDM™)」の普及が顧客の間で伸長しました。

² 成長率は恒常通貨ベースの前年同期比です。

第1 四半期の主な契約案件

コンサルティング&サービス・インテグレーション:

- 三菱商事から、業務効率とビジネスの卓越性を高めることを目的とし、世界の複数地域と約 150 か所の事業拠点をカバーする、同社のグローバル・ネットワークアーキテクチャ変革の戦略パートナーに選ばれました。
- 英国有数の小売企業から、一連のマイクロサービスを活用したポータルを導入し、さらに、新しいサプライヤー向けマスターデータ管理ソリューションを通じてサプライヤーネットワークを最適化することでデジタルによる業務変革を進め、ビジネスのアジリティ(俊敏性)の向上を図る戦略パートナーに選ばれました。
- M&G プルデンシャル社とのパートナーシップを拡大し、同社の英国における貯蓄・退職後向け貯蓄分野の顧客サービス強化により、TCS が管理する契約数は 580 万件に拡大しました。
- 米国有数の航空会社から、業務サイロ化を克服し、また複数の事業部門にわたり一体化されたビジネス情報を提供する IoT Digital Thread と Digital Command Center イニシアチブの一環として、アナリティクスを活用した業務改善プロジェクトを受注しました。
- 金融産業への取引後サービスプロバイダーとして信頼を集める Euroclear Finland 社から、「TCS BaNCS™ (バンクス)」の展開とともに、発行と取引後サービスを大規模に刷新し、同社の中核を占めるレガシーシステムを変革するパートナーに選ばれました。
- 北米の著名な航空会社から、セキュリティ設定の効率とパフォーマンスを向上し、先進的なアナリティクスラボとセキュリティのインフラ構築を通じ、顧客に向けてより充実したユーザーエクスペリエンスの提供を目指す戦略パートナーに選ばれました。

TCS インタラクティブ:

- カナダ有数の金融機関から、職場管理とコラボレーションプロセスの変革を通じて従業員のユーザーエクスペリエンスを改善するデジタルパートナーのリーダーに選ばれました。
- 米国の多国籍輸送およびロジスティクス企業から、同社の全商品ラインのサービスを最適化する、デジタルによる次世代のネットワークプランニングツールの設計・開発を行う戦略パートナーに選ばれました。

エンタープライズアプリケーション、クラウドサービス、およびセキュリティ:

- 大手ガス供給企業から、TCS プライベートクラウドを活用した IT インフラのホスティングと管理を含む、クラウド関連の大規模かつ複数年にわたるプロジェクトの変革パートナーに選ばれました。
- 欧州の鉄鋼メーカーから、GDPR(一般データ保護規制)に準拠したクラウドアクセス・セキュリティブローカー・ソリューションの導入により、クラウドアプリケーションの視認性とコントロール改善を図るパートナーに選ばれました。
- 英国有数の航空会社から、Azure のクラウドソリューション導入による、スマートな受注管理ソリューションとデジタルショッピングチャネルにおいて優れたユーザーエクスペリエンスの提供を目指すプロジェクトを受注しました。

- 米国の旅行およびロジスティクス企業から、Office 365 と SharePoint を活用し、設計を中心とした変革イニシアチブを通じて、新たなデジタル・ワークプレースの構築を目指すプロジェクトを受注しました。

自動化とブロックチェーン:

- 米国の電子式試験および測定機器メーカーの Keysight 社から、インテリジェント・オートメーションと、世界初のエンタープライズ IT 向けコグニティブ・オートメーションシステム「ignio™ (イグニオ)」を活用した TCS のマシンファースト・デリバリーモデル (MFDM™) を用いて、同社の IT 変革を目指すプロジェクトを受注しました。
- オーストラリア有数の小売企業 Woolworths Group 社から、自動化ソリューションを活用した、業務運営の卓越性と効率性を向上する戦略パートナーに選ばれました。
- 宇宙航空および輸送事業を行う多国籍企業から、インテリジェントな自動化ソリューション展開を通じた効率改善プロジェクトを受注しました。
- カナダ有数の銀行から、複数の業務分野にわたり顧客インサイトを同期化するブロックチェーン・ソリューションを導入し、顧客情報の透明性向上を目指すプロジェクトを受注しました。

IoT とアナリティクス:

- 米国の大手銀行から、同行のアナリティクスプラットフォームと先進的な検索エンジンを一体化することにより、コグニティブインテリジェンスとマネーロンダリング防止プロセスによって金融犯罪対策グループの強化を図るプロジェクトを受注しました。
- 米国有数の航空機メーカーから、先進的なアナリティクス、マシンデータの一体化、およびクラウド移行を通じ、同社の 2025 年に向けた企業戦略に沿ったデータ移管プロジェクトを受注しました。
- 英国最大の港湾グループから、IoT ベースのセンサーテクノロジーを活用した現場資産の追跡により、業務の視認性と安全基準のコンプライアンス向上を図るプロジェクトを受注しました。

製品とプラットフォーム:

- TCS の製品とプラットフォームは引き続き市場での評価を高め、金融機関向け総合プラットフォーム「TCS BaNCS™」については 8 件、新薬開発ソリューション「ADD™」(Advanced Drug Development) については 2 件、「ignio™」については 7 件の契約を獲得しました。

リサーチ&イノベーション

- イノベーションに関するTCSのフラッグシップイベント「TCS Innovation Forum 2018」が、ニューヨーク、メキシコシティ、ロンドン、エジンバラの4都市で開催されました。数百名におよぶ顧客、エコシステムパートナー、インフルエンサーが、TCSのResearch and Innovationチームとともに「Innovation driven Business 4.0(イノベーションを推進力としたBusiness 4.0)」をテーマとしたディスカッションに参加しました。
- 第13回目となる「TATA Innovista 2018」において、TCSのチームは複数分野にわたり5つの賞を獲得しました。

- TCS Researchはアメリカ国立標準技術研究所(NIST)が開催した「AM-Bench 2018 Benchmark Challenge」において、構築済み15-5ブリッジ構造のマイクロ構造予測で最優秀賞を獲得しました。

2018年6月30日現在、TCSは第1四半期に申請した62件を含め3,978件の特許を申請中で、これまでに715件の特許を取得しています。

人材関連

第1四半期末現在の連結ベースの総従業員数は、40万人の大台を超え、400,875人となりました。女性従業員比率は35.6%に高まり、従業員の出身国の数は143か国でした。

有機的な人材開発を目指すTCSの戦略を通じて累計1,100万時間の学習が行われ、また、デジタルテクノロジーについては264,000人を超える従業員に、アジャイルの手法について242,000人を超える従業員に対し研修を行いました。ITサービスの離職率(直近12カ月)は当四半期でさらに0.1%低下し10.9%となり、(BPSを含む)合計離職率は11.7%に低下しました。

以上

タタコンサルタンシーサービシズ(TCS)について

タタコンサルタンシーサービシズは、革新的かつ業界最高水準のITサービス、コンサルティング、およびビジネスソリューションを世界中の大手企業に向けて提供し、その変革への道りを支援している、ITサービス、コンサルティング、およびビジネスソリューション企業です。TCSはコンサルティングを基盤とし、コグニティブテクノロジーを活用したBPS、エンジニアリング・サービスやソリューションを総合的に展開しています。これらを卓越したソフトウェア開発の基準として認識されている、TCS独自のアジャイル・デリバリー・モデルを通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。

TCSは世界最大規模の多国籍複合企業体であるタタグループに属し、最高水準のトレーニングを受けた40万人を超える人材を擁し、世界46カ国で事業を展開しています。2018年3月31日を末日とする会計年度の売上高は190億9,000万米ドルで、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスやMSCIグローバル・サステナビリティ・インデックス、FTS4Eグッド・エマージング・インデックスをはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。

TCSの詳細についてはwww.tcs.comをご覧ください。